

市議会だより

おおまち

177号

令和2年5月1日発行

3月定例会号



議会だよりライブラリーで過去の
議会だよりも見ることができます

特集 | 令和2年度予算審査..... 3ページ
pickup | 意見交換会報告..... 16ページ

●表紙の写真を募集します！

●みなさんの声をお寄せください！ Mail : g-dayori@city.omachi.nagano.jp

中網 代かき風景

撮影者：議会だより編集委員会



特集 | 令和2年度予算審査

令和2年度

新年度予算(議案第25号)に関する委員会での審査や意見をまとめました。予算審査から見える令和2年度の新たな取り組みや問題点の主なものをお知らせします。
議案第25号についての討論は18ページに掲載していますのであわせてご覧ください。

7月から大町病院で 病児・病後児保育開始

病児・病後児保育事業

施設改修費等 4,400万円
運営委託料 1,000万円

病気の子どもを一時的に保育する事業。北アルプス連携自立圏①の取り組みの一環。圏域内の乳児・幼児を対象に実施される。他市町村からの負担金は780万円余、市の負担は約620万円。



事業委託を受ける大町病院

こんなことが変わる!

子育て支援、地域を支える人づくりに重点!

ようやく動き出した猿害対策

有害鳥獣駆除強化事業 686万円余

サルの追い払いや駆除の強化を図るため、有害鳥獣駆除員を1名新たに採用。GPS首輪発信機や大型捕獲檻の設置など。

委員会での審査内容

- 問** 有害鳥獣対策の問題点と重点対策は?
- 答** 特に猿が増えた。GPS設置で猿の居場所を見える化し、大型捕獲檻を一基設置する。
- 意見** 猿駆除に対して行政が具体的な取り組みを始めたことを大いに期待する。

北アルプス国際芸術祭 コロナウイルスへの対応は

芸術文化振興事業 1億4,576万円(うち北アルプス国際芸術祭負担金 1億3,100万円)

委員会での審査内容

- 問** 中止の場合補助金・交付金は?
- 答** 現時点で中止は考えていないが実施しない場合は、交付されない。
- 問** 作家に対する作品制作費支払いは?
- 答** 支払いは、実行委員会とアートフロントギャラリーとの契約による。一部作家は、現在プランニングや場所決め等に取り組んでおり、その支払いはアートフロントと作家の協議による。(令和2年3月時点)

進出企業への助成金は有効か

工場等誘致振興助成事業 1億658万円余

委員会での審査内容

- 問** 工場誘致に多額の投資をしているが、市内雇用の促進と実態は。
- 答** 一定以上の市内雇用で、助成金が加算される。雇用者は現在選考中。
- 問** 固定資産税に対する助成は。
- 答** 工場増設は2年分、新設は3年分の固定資産税相当額を助成する。
- 問** 今の制度では市の実収入がなくなる。考え直すべきでは。
- 答** 工場等誘致振興審議会でも同様の意見がでている。検討したい。



建設工事が進む「サントリー天然水北アルプス信濃の森工場」

臭気問題の解決を急げ

環境調査事業 1,346万円余

未だ苦情が収束しない泉地区の臭気問題。さらなる効果的な対応策を求め。

委員会での審査内容

- 問** 苦情の絶えない臭気問題。更に効果的な方策を模索すべき。アドバイザー制度の活用はどうなっているか。
- 答** 環境省所管の「公益法人におい・かおり環境協会」の調査で脱臭設備を直してはと助言をうけた。脱臭剤や脱臭方法を検討し、臭気問題の解決を図りたい。
- 意見** 近隣住民だけでなく、臭気問題は市民にとり大きな問題。環境改善の指導を望む。

福祉医療 高校生まで対象

福祉医療給付費 2億1,000万円 (うち高校生入通院分 800万円)

4月1日より福祉医療の対象者を拡充。中学卒業までから高校卒業まで対象を広げる。

あゆみ園の 開所日拡充

母子通園施設費 444万円

大町病院併設の母子通園施設「あゆみ園」の開所日が、週4日が隔週で週5日となる。

用語解説 ①北アルプス連携自立圏

大北5市町村で構成。広域的な課題について連携し解決を図ることを目的とする。

委員会代表質問



市民の「命」を守るために
防災備蓄倉庫の早期整備を

総務産業委員会 降旗達也が問う

災害時、行政は
市民を守れるか

新しい防災マップの冊子での配布は、平成22年に配布した防災マップは、新たな浸水想定区域を除き、危険箇所に必要な変更がないため、紙のマップが必要なのは引き続きこのマップを配っている。

同報系防災行政無線の運用を始めて10年以上経過しているが、戸別受信機等の機器の継続性はどうか。

〔関連質問①〕

現在の戸別受信機は令和2年度で生産が終了となり、3年度以降は新機種に切り替わる。生産終了後も7年は部品供給可能であり、部品調達が困難な場合は、再度補助制度を利用し新機種へ交換してもらう。

子どもたちが状況に対応し、柔軟かつ主体的に対処できる力を養えるような「防災教育」が必要だと考えるが、子どもたちがどのような状況下でも、助け合いながら主体的に的確な行動をとり、自らが命を守り抜く態度と能力を身につけられるよう防災教育の充実に努める。

〔関連質問②〕

多くの防災備蓄品が蓄えられているが、備蓄数の根拠は何か。

防災備蓄倉庫、備えは万全か

糸魚川静岡構造線断層帯地震の被害を想定し、最大避難者数を7,370人と想定している。この最大避難者数に対し3食1日分を確保する2万食を備蓄している。

この備蓄数で足りるとの考えか。

1日分が適当かどうか、常に検討をする中で見直しは行っていく。

八坂・美麻地区にはそれぞれ1箇所しか備蓄倉庫がない。孤立が想定される地区への備蓄倉庫の整備予定はないか。

地域の状況を再検討するとともに地域住民の意見を伺い総合的に判断していく。

災害時の意識付けとして、訓練時だけでなく備蓄品の展示機会を増やせないか。

期間限定での展示は行っているが、



今後、市民への紹介の方法や機会を増やすことも検討する。

消防団に機能別団員が創設されたが現状は、

2月1日現在、実団員数668人中8人が機能別団員。新年度は団幹部を引退する団員に引き続き、機能別団員として活躍してもらえよう積極的に働きかける。

防災士資格の取得助成を行っているが、現状と資格取得後の役割について伺う。



地理的に孤立が予想される地域への
防災備蓄倉庫の整備及び備蓄品の拡充を急ぐべき！
市庁舎前に設置されている防災倉庫

現在までに資格試験を受けた12人全員が認証を受けている。災害時には、避難所運営等、現場のリーダー的存在として行政と市民の橋渡し役として活動いただく。

防災マップの作製配布時期は、令和3年から、県が浸水想定区域を発表するので、それ以降に有効活用されるようなものを作成する。

●関連質問① (宮田委員)

宅内戸別受信機普及は大事。具体的にどう普及させるか。隣組単位まで貸し出しできないか

●関連質問② (二條委員)

防災教育の視点を各教科の授業に具体的に取り入れる方針を示せないか。

●関連質問③ (大竹委員)

国の教科横断的な重要指導内容となっている。重要施策として位置付けていく。

個人質問



特別会計・企業会計への
基準外繰出金の今後の対応は

政友クラブ 二條 孝夫が問う

他会計繰出金を
抑制せよ

来年度予算は財政の鉄則「入るを量りて出するを制す」の言葉どおり、健全予算が組まれている。そんな中、市立大町病院内の病児保育事業の新設、子ども医療費窓口無料化を高校卒業まで広げるなど子育て支援に財政支出することは評価する。財政支出は、誘導的手法による公共政策や、今回の新型コロナウイルスや暖冬など緊急時に出勤することが大事である。しかし、それ以外は抑えるべきだ。中でも注目すべきは公営簡易水道などの特別会計、農業集落排水事業などの企業会計へ一般会計から30年度決算で20億6,000万円を超える繰出金があることだ。また、総務省が示している繰り出し基準外の額が一般会計から繰り出されている。どう考えるか。

当市では企業会計、特別会計に対し自治体として不採算部門を持たざるを得ない。その部分は総務省通知によって基準内繰り出し金を行い、一部は交付税措置されている。しかし、農業集落排水事業や簡易水道事業には、基準外の繰り出し金を恒常的に支出している。また、公共下水道については企業債の償還額の増加に伴い、毎年、繰り出し額が増加している。今後は各公営企業の経営健全化計画に基づき、一層、効率的な運営に努め、さらなる経営努力を促すことにより一般会計からの繰り出しを極力抑制していく。

暖冬・新型コロナウイルスのための新たな経済対策について質問した。



緊急事態、新型コロナ、暖冬災害対応の更なる
予算付けを キャンセルに苦しむ市内宿泊業

用語解説 ①防災士

防災士とは、社会や地域防災力向上のための知識、技能を有する者として、特定非営利活動法人日本防災士機構が認証した人。

用語解説 ②機能別団員

大町市消防団の幹部経験者又は50歳以上で、機能別団員への移行を希望する方。日中現場対応する団員の不足を補うことを目的とする。

個人質問

豊かな水は天然の恵み、安全・安価な水を後世に



無所属クラブ 大町 幸久が問う

居谷里水源で大腸菌検出

問 「居谷里水源」の飲料水は大町中心市街地の本通りから東側の地域及び社地域の飲料水を供給している。この水質検査で平成15年と平成17年に大腸菌が検出された。国は大腸菌が検出された時の指針として、①直ちにその水を停止する。②その水の使用が危険であることを関係者に周知すること。違反者には、3年以下の懲役や300万円以下の罰金など厳しい罰則がある。飲料水汚染の指標菌④とされる大腸菌は塩素殺菌で死滅するが、これで死滅しないクリプトスポリジウム⑤等が、各地で食中毒を起こし問題となっている。国の指針で居谷里水源の水は毎月水質検査が必要だが、平成20年から9年間、1

サントリーの水理念と共生で認知度アップを



市民クラブ 大町 富義が問う

水関連企業との連携強化は

問 水を市の発展にどう生かすのか。
答 信濃大町水ブランド戦略に基づき地域振興につながるよう尽くしていく。
問 市の認知度をアップするには、水に関連する企業と連携し「湧水・清流保全都市宣言」をしたらどうか。
答 「信濃大町水の恵みに感謝をプロジェクト」の取り組みを進める。
問 公共施設の維持管理と基金のあり方は
答 昭和46年建設の大町病院の西病棟は老朽化が進んでいる。今後の計画は。
答 医療需要等を考慮し、建替えも含めた総合的な施設整備をしていく。
問 ゆくびる木崎湖プール棟は老朽化が進んでいる。今後どうするのか。
答 当面は計画的な維持管理に努める。
問 市民利用の公共施設利用料は値上げした。市外の利用が見込まれる五日町のバス専用駐車場を無料とした根拠は。
答 費用対効果により無料とした。
問 地域振興基金16億円の使途は。
答 地域振興に資する事業に大きな資金需要が生じた場合に有効活用をする。
問 大町病院へは令和元年度と2年度に地域振興基金から4億円余を貸すとしているがその根拠は。今後必要請があれば貸すのか。
答 病院の資金不足の解消などを目的に、長期貸付金の原資として基金を取り崩した。今回限りだ。

事業者の対策は悪臭を広い地域に拡散しているだけだ



日本共産党 大町市議員 平林 英市が問う

悪臭に本気で対応しているのか

問 対策として排気塔を15mから27mとかさ上げた。その結果排気口からの臭気指数基準値⑥が26から44に緩和された企業が有利になり逆効果で対策にならない。
答 かさ上げる事により排出された臭気が空中で拡散・希釈される。結果として基準値は緩和されることになる。
問 拡散して広範囲な地域に悪臭汚染を振りまいているだけではないか。
答 排出口の基準値44が守られていれば臭気の拡散が図られ期待できる。
問 排出口基準値を30以下にすべきだ。
答 事業者と地元住民との合意により任意の規制基準値設定は可能となる。
問 苦情に対する対応は出来るのか。



安全安心な飲料水の確保・供給は行政の基本的責務。危機管理能力が問われている。

年に1回しか検査していない。水道事業管理者でも市長はどのような認識か。
答 危機的状況であるなら見直しをする。クリプトが出たら直ちに停止をする。
問 大町市水道ビジョンを策定中なのに、居谷里水源浄水場と三日町配水池の建設費18億1,360万円がすでに県に申請されている。極めて異常な事態で検証が必要だ。
答 今後の基本計画策定で最善を尽くす。
問 大町市は豊かな水源に恵まれ、居谷里水源がなくても、矢沢・白沢・上白沢水源で必要量の2倍の水がある。この水を集める大原第2配水場に浄水施設とクリプト対策の紫外線照射装置を設置すれば最も安価で安心な水道水供給が可能だ。検討を。
答 万が一に備え各水源を保全していく。



市販されている大町の水。他にAWウォーターがあり、今後サントリー天然水が加わる

進んでいる。今後どうするのか。
問 市民利用の公共施設利用料は値上げした。市外の利用が見込まれる五日町のバス専用駐車場を無料とした根拠は。
答 費用対効果により無料とした。
問 地域振興基金16億円の使途は。
答 地域振興に資する事業に大きな資金需要が生じた場合に有効活用をする。
問 大町病院へは令和元年度と2年度に地域振興基金から4億円余を貸すとしているがその根拠は。今後必要請があれば貸すのか。
答 病院の資金不足の解消などを目的に、長期貸付金の原資として基金を取り崩した。今回限りだ。



一向に環境改善につながらない高くした排気塔

問 現状の臭気の拡散を抑えるには、臭いの少ない原料の選定や原料保管時臭気漏れ対策が重要。事業者に徹底を強く求める。
問 事業者は燃焼式脱臭装置を導入するとしているが効果と課題はどうか。
答 一定の脱臭効果が見込める。課題は産業廃棄物関連の法律による手続きがあり認可されるまで2年程度の期間が要する。
問 設置に膨大な費用が掛るとして廃棄物の受け入れ増は地元合意ができるのか。
答 事業者は最終的には日量162トンの受け入れを求めている。現在日量42トンであり、地元対策委員会は懸念している。
問 清水地区の畜産施設からは毎回基準値15をはるかに超える測定値が出ている。
答 地元地区と相談して改善勧告も検討。

用語解説

⑥臭気指数基準値 詳しくは下記をごらんください
大町市ホームページ > 市民の方へ > くらし > ごみ・環境 > 環境 > 悪臭防止法に基づく規制地域及び規制基準

用語解説

④指標菌 水道水の糞便汚染の目安となる大腸菌や嫌気性芽胞菌（ジアルジア）のこと。
⑤クリプトスポリジウム 人や動物の消化管内に寄生する単細胞寄生虫（原虫）。下痢を主症状とする胃腸炎を引き起こす。

一般質問は市の行政全般に関して議員がその考えや意見を聞くものです。ここでは議場でのやりとりを要約してお伝えします。



10年の反省を活かし、今こそ事業改善を図るべき

創生みらい 傳刀 健が問う

ケーブルテレビ活性化のために

問 ケーブルテレビの加入状況と加入世帯数の目標、達成に向けての対策は何か。

答 加入世帯数は3,037世帯、加入率25・56%。加入目標は全世帯数の3割である。情報の充実や、機器更新などで安定した視聴環境を整備してきた。

問 加入促進予算20万円の使い道は何か。また加入者以外の声に耳を傾けたか。

答 販促グッズの作成購入に充てる。加入者以外の声を聞く場は設けてなかった。

問 自主放送を扱うための機器更新に昨年度3,200万円かけ、以後も機器の管理や制作外注等に年間で2,000万円以上かかっている。自主放送の質の向上のため、何をすべきと考えるか。

答 放送番組審議会を今以上に活性化させ、同時に、広く市民の意見を聞き市民ニーズに応えながら質の向上に努める。

問 テレビ広告の現状と広告募集の周知はどうか。

答 動画放送1回30秒、文字放送1回200文字を7日間掲載する。料金は市内の方で動画放送3,000円、文字放送1,000円。募集周知は現在していないが、今後要綱整備を含め検討していく。

問 インターネットサービスに向けた課題は何か。

答 インターネット接続環境は日常生活に不可欠なものとなっており、加入者獲得のため非常に重要な課題であると考えられる。どのような整備が望ましいか検討を続ける。

時間	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
放送局	BS11	BS11	BS11	BS11	BS11	BS11	BS11
番組名	BS11	BS11	BS11	BS11	BS11	BS11	BS11

市民が見たいと願う番組はどれだけあるのか



中山間地を守る持続可能なコンパクトなまちづくりを

公明党 太田 昭司が問う

魅力ある持続可能なまちへ

問 大町駅前本通り商店街の下を流れる「川」を見せることで、せせらぎの聞こえる居心地の良い空間を生み出せないか。

答 かつてはこの川は商店街の通りの中央を流れ、旅人の疲れを癒し炊事洗濯にも利用され宿場町特有の風情をもたらした。議員の提言は、「水」をブランド力とした魅力的なまちの創造に有効である。今後、市民より意見を聞きながら検討したい。

問 コンパクトシティを進めるにあたり、美麻や八坂の文化を守るための拠点整備が重要となる。この地域には、都会の人々が憧れる豊かな自然環境がある。そして八坂や美麻と中心市街地を結ぶ公共交通の充実が今後の最重要課題となる。市の見解は。

答 今後、八坂・美麻地区において拠点が整備される際には、拠点間を結ぶ公共交通サービスの拡充を含め新たな検討が必要と考える。地域のご意見を踏まえ、立地適正化計画策定と一体的に検討する。

市の文化政策を進める条例の制定を!

問 市の文化芸術事業が定着してきた。この盛り上りを機に市の文化芸術活動の基盤となる条例を定める時ではないか。

答 芸術文化の振興は、創造性や表現力を育て地域に活力を与えるとともに、豊かな精神性を育み人々の暮らしに安らぎや潤いを与える。条例制定については、芸術祭の成果を検証するとともに、多くの市民や関係者の意見を十分聞く中で検討したい。



中山間地の豊かな生活を守る拠点整備と公共交通の拡充は今後の最重要課題



地域の暮らしを支える自治会の課題と今後の役割は

政友クラブ 山本みゆきが問う

少子高齢化の中自治会の継続は

問 自治会は安心して住みよい地域づくりをする大切な仕組みだが、加入率が減っている。市と連携し加入促進できないか。

答 自治会は、行政と地域を繋ぐまちづくりの重要なパートナーと捉えている。広報おまちで加入の呼びかけ、未加入者世帯にはパンフレットを送付している。各自自治会の状況に応じた支援に努める。

問 人口減少や、高齢世帯への自治会費の軽減など、自治会の運営費は減少している。思うように活動できなくなることが問題となっているが、対策は。

答 運営費の確保に苦慮している自治会もあると聞いている。行政連絡や活動費として世帯数に応じ補助金を交付している。

自治会によっては、ひとが輝くまちづくり事業補助金を活用していることから、他の自治会にも紹介していく。

問 活動拠点の公民館や基幹センターは地域により老朽化している。災害時には避難場所となり、防災拠点としての役割もある。建て替えや整備は自治会の存続にもつながるが、どのように支援するのか。

答 公民館等の建て替え、整備については相談があれば、補助事業を紹介し、申請から実績報告まで支援に力を尽くす。

問 新たな時代を生き抜く課題の解決には、目的を共有することが大切ではないか。

答 人と人との触れ合いや地域の連帯感の醸成は自治会の普段の活動によって培われるものであり、支援に努めていく。



協働のまちづくりに取組めるよう、市民活動サポートセンターを活かすことは出来ないか

一問一答形式で質問する議員1人の持ち時間は20分以内と決められており、行政側の答弁を含めると、およそ50分程度となります。



農産物・特産物の販売戦略が重要！旗振り役が必要！

政友クラブ 大竹真千子氏が問う

稼ぐ農業とするための振興策は

問 海外販路拡大事業の動向と展望は。

答 輸出セミナーや意見交換会を開催し令和元年度はコメの輸出事業者と戦略的輸出事業者とのマッチングにより香港への6tの輸出が実現した。新年度も36tの要望があり市内農業法人と調整を進めている。

問 香港以外で取引が可能な国は。輸出したい人・業者は今後どうすればよいか。

答 台湾、ベトナム、ニューヨーク等にルートがあり今後説明会等を行う予定。

問 農産物・特産品について個々では販路を見出すのが難しい状況だが、マーケティング戦略はどうすべきと考えるか。

答 全国的な組織力と販売力でJ Aがマーケティング戦略を展開している。J A



県の観光地利用者調査(30年度)で松本城に次ぎ述べ82万人訪れる堀金物産センター

に出荷するほどの量を生産していない少量多品目の生産者には直売所への出荷を奨励している。また、海外輸出、立川のアンテナショップへの直販等を推進している。

問 J Aや農業事業者、販売業者を調整し販売戦略を考える場を作ることが必要だと考えるが、その役を行政が担えないか。

答 地域の流通・販売系統はJ A系統によるものが主流となっているが、それ以外の流通形態の構築も重要。県外や海外への流通形態の確立に取り組みつつ、今後調整役として連携を図りながら取り組む。

問 地域の農産物の流通に直売所の維持継続は重要。人材育成や確保への考えは。

答 重要である。出荷に対する要望も多い。引き続き連携を図っていく。



成長産業となるIT産業に適正のある子供達を繋げ

政友クラブ 中村 直人が問う

子供の可能性を開くIT教育を

問 不況の中でもIT産業は成長分野である。来年度は義務教育でもプログラミングが必修化される。池田町や白馬村が国際化などで教育の特色を打ち出す中、わが市では就業の機会も増えるIT教育に力を入れていくのはどうか。現在の取り組みは。

答 先進地を参考にし、ICTを活用した授業改善に取り組んできている。昨年度から希望者にむけたプログラミング教室やマイクロビット^⑦を使った教室を開催している。新年度も生徒一人一台の端末配置などに取り組むなど、国の施策に合わせた所要の調整を進めている。

問 子供たちがITやインターネットに触れることで、個人情報流出など、様々な問題も出てきている。それらを防ぐリテラシー教育^⑧についてはどう行うか。

答 今年度は「きらりおおまちサンプルン」インターネットの安全な利用に関する「リーフレット」など、家庭と協力して取り組みを進めてきた。学校教育においても、専門家の指導の導入等も検討しながら、リテラシー教育の充実をすすめる。



迷路を走破するロボット。楽しみながら学ぶことが子供たちの経験になる

問 IT人材を育てるためには、主体的にIT機器に触れられる環境が重要である。休み時間にPC室を開放できないか。

答 一定のルールを決めることで可能と考える。児童生徒がICT機器を身近なツールとして活用することは、技能の向上にも効果的と考える。管理体制などを含め、学校とともに十分に検討する。



震災被害の軽減には建物の耐震化を推進することでは

日本共産党 宮田 一男氏が問う

震災被害対策の現状は

問 震災時の被害想定は。

答 震度7の地震が発生した場合、建物の全半壊5,490棟、死傷者880人。

問 耐震改修の現状と推進策は。

答 耐震化率を90%までにするためには、令和2年度に1,340戸の改修が必要となり、耐震化推進のために建築士資格を有する職員2名の採用を予定している。

問 高瀬川^⑨を県に要望すべき。河川内の樹木の伐採・伐根など、安定した河道確保に向けた事業は進んでいるが、高瀬川水系の防災力強化を県に働きかけてゆく。

問 子育て支援について

答 子ども医療費の窓口無料化は18歳まで拡大となったが、窓口で支払う月1回の負担金の500円も完全無料化できないか。

答 福祉医療制度を支える上でも、最小限の負担を頂きたい。

太陽光発電について

問 「開発指導要綱」から「太陽光発電設備の設置管理等に関する要綱」に変更したが、規制することができるか。

答 要領は、計画、施工、運転、終了、発電設備の撤去まで、適切な指導ができる

問 業者との協定には、関係住民組織と共に、市・県が加わっていたいただきたい。

答 必要と判断した時は、市も加わり県にも要請する。



子ども医療費窓口無料化高校卒業まで

用語解説

- ⑦マイクロビット プログラミング教育用の小さなコンピューター
- ⑧リテラシー教育 メディアが発する情報を能動的に読み解く能力
- ⑨浚渫工事 河川などの底面を浚って河床を下げる工事のこと



「一番大事な「市民」を置いてけぼりにしてないか！」

創生みらい 降旗 達也が問う

芸術祭、市民の盛りあがりは

問 北アルプス国際芸術祭2020に対して市民の盛りあがりを感じられないが、行政としてどのような考えを持っているか。

答 市民参加は強制すべきものでなく芸術祭の目的を理解し、自発的に参加することで徐々に形成される。まずは市民自らが大町市を楽しんでいる姿を体験してほしい。

問 新型コロナウイルスの影響で芸術祭の実施について心配の声が上がっているが。

答 感染の状況や国・県の動向など、情報を的確に把握し、適切な対応をとる。

問 作品の地理的状況等で鑑賞できない作品がであることを、行政がやむを得ないとしていることは問題である。第2回芸術祭



地産地消の取り組みと、異常気象対策は？」

政友クラブ 一本木秀章が問う

さらなる地産地消の取組を！

問 日本型直接支払事業に係る事務の軽減について伺う。

答 県を通じて国に負担軽減のため改善を要望すると共に、土地改良やJAなどへ事務の受託を働きかけた。

問 八坂地区、美麻地区の中山間地等直接支払制度の取組状況は。

答 現在、この制度を16組織が活用している。新年度からは全ての組織が10割単価を受給出来るように積極的に支援すると共に、中山間地農業ルネッサンス事業⑩を最大限に活用していく。

問 地産地消の取り組みは。

答 大町市地産地消事業実行委員会が中心となり、農産物や加工品等の消費拡大に



観光都市信濃大町の展開、変革が市民に見えているか

神社 正幸が問う

観光目標を市民に明確にすべき

問 市長の描く大町市の観光ビジョンは。

答 昨年3月市観光振興計画を定め、市の観光将来像を示した。①稼げる観光地、②観光客と市民双方が満足できる観光地。施策として、滞在型観光への転換、知名度、ブランド力の向上、インバウンド推進などで交流人口、関係人口の増大に繋げることが、当市の観光将来像である。また、観光協会の法人化も不可欠である。

問 東山観光計画の進捗状況と、新たなプランへの挑戦はあるか。

答 主な取り組みは、恋人の聖地ミニユメント設置、展望台のWIFI環境の整備、霊松寺のトイレ建設、鷹狩山での国際芸術祭の作品展示など。新たな事業は、トレッ



市民感覚を持ち、市民と一緒に進まなければ、一部の人たちだけの芸術祭になってしまう！

は高齢者や障がいを持った方が芸術作品を100%鑑賞できる状況になるのか。

答 障がいがある方には、パスポートを千円で販売しているので同一水準の設定ではない。できる限りユニバーサル対応に努めるが、作品の性質上や物理的に不可能な場所が出てきた場合は、その旨を知らせる。

問 市民と話す中で、庁内連携が取れていない様子が伺えるが連携は取れているか。

答 市の重要な施策として庁内で緊密に連携して取り組みを進めている。

問 実行委員会の考え方と市民の想いの間にギャップを感じるが、市長の考えは。

答 これから様々な場所で作品制作が始まる。そこに市民が参加することで具体的な芸術祭の印象が生まれてくると期待する。



市の代表する農産物 米、蕎麦、リンゴなど。どうして特産品にならないのか？

向けた普及啓発活動をしている。また北アルプス国際芸術祭においても地元食材を活用する取り組みをしていく。

問 地球温暖化に伴う異常気象対策は。

答 現在、県農業改良普及センターからの気象情報を有線放送やホームページにより周知・広報を図ると共に、温暖化を見越した作付計画等においては、農家に対して有効な情報を随時知らせていく。

地域ポイント制度について

問 諏訪市で行っている地域ポイント事業を大町市でも出来ないか。

答 地域ポイント事業を進めるには、多くの事業者の協力など解決すべき課題も多く、事業の可能性を探りたい。



仁科三湖は、県民の週末リゾート地としての発信をすべき。湖畔の景観整備の推進を

キングルートや、サイクルイベントなどがある。周遊観光を目指し、様々な団体の企画するイベント等を積極的に支援する。

問 木崎湖観光は進んでいるか。

答 アウトドアの若者や家族連れが増えている。空き家等を含めた景観や施設の再整備が必要であり、地元市民や若い事業者を含め今後の施策のあり方を検討する。

問 アルペンルート観光は減少している。市は関電等と話し合いを行っているか。

答 100万人が目標である。近年は約4分の1が外国人客で、不安要素もあり今後の課題だ。毎月、委員会や部会を開き協議や情報の共有を図っている。令和3年はアルペンルート50周年、善光寺御開帳で、大規模な誘客キャンペーンを検討する。

用語解説

⑩中山間地農業ルネッサンス事業

中山間地の特色を生かした多様な取組みを後押しすることで中山間地農業を元気にする事業。

議員が質した3月定例会

こんなことが決まりました

議案第33号 令和2年度大町市病院事業会計予算

市立大町総合病院の経営戦略は

議案の概要 大町病院の新年度予算。経営健全化計画に掲げる施策を着実に実施し、経営の健全化に向けた予算としている。

委員会審査

問 個別外部監査の結果報告のとおり、部署ごとに目標を立て成果を積み上げていくべきでは。

答 新年度には、分析システムにより診療実績データを活用し、経営改善を図る予定である。部署ごとに目標をもちKPIの設定及び活用をして、病院全体の成果に繋がる取組みを進めたい。

問 一時借入6億5,000万円と長期借入7億円をいつ完済するのか。また、設備投資の計画は。

答 令和3年度末までに、今後の投資計画を含め収支の見込みも作っていききたい。

最終口討論

反対 一般会計に頼りすぎるな

大町病院の来年度予算は赤字だが、一般会計から7億円の長期借入金による予算であり、借金の先送りである。経営者を専任し一般会計に頼りきった経営から脱却すべきだ。(大厩)

賛成 地盤固めと未来への一手

経営改善への安定した財源確保のため、一般会計からの借入は必須。人材育成の取り組みは、給与削減をお願いする中で、職員のモチベーションや質の高い医療に繋がりに評価。(中村)

結果

賛成多数で可決

議案第15号 大町市住宅条例の一部改正

入居希望者の利便性を第一に

議案の概要 市営住宅入居における保証人要件等を変更するもの。保証人の市内居住要件撤廃、保証人から連帯保証人へ改正など。

委員会審査

問 保証人が確保できない場合は県社協の「あんしん創造ネット」を利用することになるが、連帯保証人でも利用は可能か。

答 取り扱いについてはこれまでの運用と変わらない。県社協の理解は得られている。

問 国は保証人をなくす方向だ。逆行しているのでは。

答 他市県の状況を勘案し、現状においては必要と考えている。

最終口討論

反対 市営住宅は、住宅困窮者の最後の砦

市営住宅入居者は、単に経済的問題だけでなく、様々な事情を抱える方もおり、連帯保証人の確保

は容易なことではない。公営住宅法の趣旨に反する改正に反対。(宮田)

賛成 民法に則した改正を

民法条例第一〇条第一項第一号及び第三項において、保証人を連帯保証人と改正することに併せ、これまで運用してきた連帯保証人の実態に即した表記に改める事に賛成。(一本木)

結果

賛成多数で可決



入居希望者の多い館ノ内団地

議案第29号 令和2年度水道事業会計予算

水道水の安全性を巡って

議案の概要 水道事業の新年度予算。計画的な送配水管敷設替工事の推進など。

委員会審査

問 居谷里水源についての取り組みは。

答 本年度は三日町配水池に関する予算はない。令和元年度繰越予算で基本計画を策定中である。

問 居谷里水源は紫外線照射装置に変えるようだが。

答 今までに指標菌である大腸菌等が検出されたため、国の指針によりUV紫外線装置を導入する。

最終口討論

反対 安全・安心・安価な水道ビジョンの策定を

大町市水道事業の将来の在り方を決める水道ビジョン策定中なのに、居谷里水源に18億3千万円余の建設計画の存在が発覚、異常事態で徹底した検証が必要だ。(大和)

賛成 適正な予算規模と判断

安全で良質な水を安定的に供給していく上で、事業運営上必要な経費及び建設改良費が計上され、適正な予算規模と判断している。適切な予算執行により、安全な水が供給されていると考える。(大竹)

結果

賛成多数で可決

(総務産業委員会の決定)

安全な水道水確保のため今後継続して研究・調査を行う。



居谷里水源の集水樹



議案第25号 令和2年度一般会計予算

コミュニティ・スクールの文科省型へ

議案の概要 市内の全小中学校が信州型から文科省型コミュニティ・スクールへ。

委員会審査

問 信州型と文科省型の違いは。

答 信州型はボランティアで学校支援がメイン。文科省型は住民参画型。より深く学校運営に踏み込んでもらえる。

問 法律上、学校の人事にも意見できるというが、人事に介入することは危険では。

答 郷土愛を育む先生に来て欲しいなどの意見を述べてもらうよう考えている。

結果

全会一致で可決

意見交換会 | 消防団幹部・

安曇養護PTA・八坂地域づくり協議会



意見交換会でいただいたご意見を、市政に生かす仕組み、動いています！
各意見交換会の進捗やとりまとめの状況をお知らせします。

安曇養護学校PTA

1月15日「障がいを持っていても、持っていないなくても、ともに支え合って幸せに暮らしていくために」をテーマにワークショップ形式で意見交換会を行いました。
いただいたご意見は、現在議会の意見を取りまとめており必要な事項は行政へ送付します。



交流の機会、話し合いの機会を持つことが互いの理解を深める

参加者の意見

Step 1

■もっと知ってほしい！私たちのこと

- ・地域の方の視線が気になり、行事に参加しづらい。
- ・災害時、障がい児への対応が十分でないと感じる。
- ・避難訓練に参加しづらい。
- ・障がい者と健常者が交流したり、お互いを知ったりする機会が少ない。
- ・学校で障がい者についての教育の充実を図ってほしい。
- ・地域や学校で交流の機会を増やし、お互いの理解を深めるきっかけを作してほしい。

▶ 次は Step 2 へ

消防団幹部 行政から回答！

12月17日開催の意見交換会で頂いたご意見を6項目にまとめ市長へ送付しました。それに対する回答が届きました。

行政担当部局の意見

Step 3

- 1.消防団活動報酬の増額** 県内他市の状況を勘案し検討する。
- 2.団員確保への協力** より効果的な確保策を団と共に研究する。
- 3.消防フェスタへの助成金増額** 今年度は第10回という節目。今回に限り増額する。
- 4.出初式式典の改善** 簡素化の一環として、来賓挨拶を3名減。
- 5.防災教育の実施** 防災士との協力により充実を図りたい。社会科や理科などの授業で防災の要素を入れた教育を進めていく国の方針に沿ってすすめていく。
- 6.防災マップの更新** 市ホームページの防災マップは随時更新している。魅力あるマップの作成を検討する。

八坂地域づくり協議会

2月5日「八坂地域づくり協議会との意見交換会」では、以下の意見が出されました。下記のとおり議会の意見を付して行政に送付します。

参加者の意見

Step 1

■持続可能な地域を求めて

- 1.デマンドバスの導入を望む
- 2.犀川の防災道路が増水で流れてしまうため、常設道路を希望する。現地確認を。
- 3.定住促進住宅の建設継続を
- 4.移住や空家対策への補助金アップを
- 5.鳥獣被害対策の電気柵設置の補助率アップを

その他、鳥獣駆除単価に関する要望など

議会の意見

Step 2

■「暮らしやすさ」の確保に向けて！

- 1.デマンドバス導入**
地区内には市民バス、地域振興バス、診療所バス、保育園送迎バスが運行中。複合的な運行の見直しなどにより補完できるものと思われる。協議会と支所の調整を図りたい。
- 2.犀川の防災道路**
3月19日現地視察し、要望事項の確認実施。河川管理者へ要望を伝える。
- 3.定住促進住宅建設継続** 行政へ伝達する。
- 4.移住や空き家対策への補助金アップ** 行政へ伝達する。
- 5.鳥獣被害対策の電気柵設置**
補助率アップ 自治会単位など大規模な設置事業については国・県の補助がある。個人単位では実費の1/2(上限15万円)補助している。令和2年度は新たな鳥獣害対策も実施されるため、状況を注視していただきたい。

市議会交通網対策特別委員会にて調査・研究を継続



3月19日、犀川現地視察 防災道路の現状を確認

あなたの声をとどける議会のサイクル



▶ 次は Step 3 へ 行政へ意見送付 回答は次号掲載

令和2年3月定例会 提出案件の審議結果

◇賛否が分かれた案件

*「賛成は○」「反対は●」で表示。

議案番号等	案件	議員											結果					
		宮田一男	平林英市	大和幸久	高橋正	中牧盛登	大庭富義	中村直人	山本みゆき	大竹真千子	一本木秀章	岡秀子		二條孝夫	降旗達也	傳刀健	太田昭司	神社正幸
議案第1号	大町市及び池田町における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	大町市及び松川村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	大町市及び白馬村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	大町市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	●	●	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	令和2年度大町市一般会計予算	●	●	●	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	令和2年度大町市水道事業会計予算	○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	令和2年度大町市公共下水道事業会計予算	○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	令和2年度大町市病院事業会計予算	○	○	●	●		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◇全会一致で可決・同意・採択された案件

議案番号等	議案名等	結果
報告第1号	専決処分の報告について専第1号 令和元年度大町市一般会計補正予算(第9号)	承認
議案第4号	大町市及び小谷村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	原案可決
議案第5号	市道路線の廃止及び認定について	原案可決
議案第6号	大町市水道事業等の設置等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第7号	大町市附属機関に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第8号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第9号	大町市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第10号	大町市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第11号	大町市債権管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第12号	大町市福祉医療費特別給付金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第13号	大町市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第14号	大町市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第16号	大町市営駐車場条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第17号	市立大町総合病院奨学金貸与条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第18号	市立大町総合病院医師修学資金貸与条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第19号	令和元年度大町市一般会計補正予算(第10号)	原案可決
議案第20号	令和元年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第21号	令和元年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第22号	令和元年度大町市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第23号	令和元年度大町市公共下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第24号	令和元年度大町市病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第26号	令和2年度大町市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第27号	令和2年度大町市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第28号	令和2年度大町市公営簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案第30号	令和2年度大町市温泉引湯事業会計予算	原案可決
議案第32号	令和2年度大町市農業集落排水事業会計予算	原案可決
議案第34号	副市長の選任について	同意
議案第35号	教育長の任命について	同意
議案第36号	固定資産評価員の選任について	同意
議案第37号	令和元年度大町市一般会計補正予算(第11号)	原案可決



3月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします。

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのかなぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。採決の結果は、次ページの審議結果をご覧ください。

議案第25号 令和2年度 一般会計予算

来年度の予算についての議案。特集ページと合わせてご覧ください。

反対

市長と実行委員長が同一は、おかしい

国際芸術祭に関しては、市長が委員長を務める実行委員会に1億2550万円の負担金を支出する行為は、市民の疑惑を招く行為であり、法的に可能か否かという前に正すべきと考える。(宮田 一男)

作品制作費(税金)の内訳不明瞭

芸術祭は「個々の作品制作費を公表すれば製作者の著作権を侵害する事になり明らかにしない」とし、作家に支払われた公金の内訳が不明瞭。市民の税金の用途を明確にしない予算は賛成出来ない。(平林 英市)

芸術祭への補助金支払い留保を

市長は芸術祭の延期を決めたが、中止の可能性も極めて高い。市から実行委員会への補助金支払いは、事態が確定するまで留保し、税金の無駄使いを防ぐべきだ。(大和 幸久)

賛成

「ひとを育む施策」の推進を

高校生までの入院・通院の福祉医療給付の拡充がされ、大町病院では連携自立圏事業として病児保育が行われるなど、子育てへの支援がさらに進むことから賛成する。(山本 みゆき)

地域活性化と持続可能な大町へ

新型コロナウイルスの感染拡大によりパンデミック(世界的大流行)となり、経済活動も大打撃である。当市の目玉事業である第2回国際芸術祭5月開催が延期となった。芸術の力で心に元気や潤いを与える芸術祭に、大町市を元気にと願って賛成。(岡 秀子)

文化芸術で魅力あるまちづくり

福祉も、教育も、防災も、公共施設の整備も全て大事だ。その上で、これからはそれと並行して文化芸術振興を同時進行で進め、大町市の魅力を磨き上げ、発信するべきだ。(太田 昭司)



中山高原 菜の花の絨毯

あながき
 コロナウイルスの蔓延は、全世界に大打撃を与え、登校や集会が規制され、子ども達への影響が心配である。市における経済的打撃への手当は迅速に発動すべきだ。オリンピック開催は延期、市も芸術祭を延期した。自然環境、社会環境を人間の欲望のままに変えてきた、人類への警鐘のように思える。

(神社 正幸)

次ページは、みんなのひろば

みんなのひろば

- ①：大町市の印象は？
- ②：これまでのお仕事は？
- ③：どんなことに取り組みたいですか？

～大町市で頑張っています～
派遣職員みなさんに聞きました！

議員が市民のみなさま取材してつくるみんなのひろばです。今回は、県や他の市町村から派遣職員として着任し、大町市で活躍する皆さんにインタビューしました。



あかはね かずとし
赤羽 一俊

大町市役所
企画財政課
(長野県より)

- ① 大町建設事務所にいた15年前と比べ、企業誘致も進み活気があると感じます。
- ② 県の農政部農業政策課で、農協・農済の経営・財務管理等に係る検査を行う部署にいました。
- ③ 今年度から北アルプス連携自立圏の第2期連携ビジョンが始まります。5市町村が着実に事業を進められるよう、お手伝いをしていきたいと考えています。



すがの かや
菅野 賀陽

大町市役所
観光課
(東京都立川市より)

- ① 東京と違い景色が広いですね。これまでも、立川市から派遣された先輩職員を訪ねて、大町を訪れていました。温泉などが楽しめていいですね。
- ② 図書館勤務でした。大町市からの派遣職員と協力しながら、大町市紹介のコーナーを担当したこともあります。
- ③ 新型コロナウイルス蔓延の感染が拡大する中ですが、大町の観光振興のためにできることを模索していきたいです。



はば きみこ
羽場 貴美子

はなのき保育園 (池田町より)

- ① 職場の方たちは、温かく親しみやすい雰囲気です。はなのき保育園は未就園児さんが多くて驚きました。
- ② 主に未就園児対象の親子支援として、早期療育を担当してきました。
- ③ 大町市の良いところを教えてください、吸収できればと思っています。年少児の担任なので、楽しく登園してもらえよう頑張ります。

次回6月定例会予定

- 開 会 6月8日(月) 午前10時
- 一般質問 6月16日(火)～18日(木)
- 最終日 6月26日(木) 午前10時 討論・採決等

傍聴にお越しの際は

- 傍聴をご希望の方は、議会棟2階の議会事務局で申込書をご記入ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間必ずマスクをご持参ください。お持ちでない場合は議場への入場をお断りする場合があります。